

前年度とどこが変わった?
子育て子育て応援策を拡大!

令和8年度 一般会計予算

令和8年度は、現在の課題に対応しつつ未来を見据えた施策に予算措置。
 ここでは子育て子育てに関する事業の一部をご紹介します。

保育環境を整備!

NEW 新規事業
**民間の保育所等
 開設・運営を支援**
1億円

多様化するニーズへの対応と保護者の選択
 枝を増やし安心して子育てできる環境整備
 のため、町内に保育所等を開設・運営する民
 間事業者に対し、建設費や改修費の一部とし
 て5千万円を上限に補助を実施。



NEW 新規事業
**希望する
 子育ての
 実現を支援**
720万円

3歳児以上を家庭内等で子育てす
 る方に児童1人あたり月額2万円
 を奇数月に支給。



NEW 新規事業
**こども誰でも
 通園制度が
 スタート**
372万円

保護者の就労状況に関わらず、未就
 園児が時間単位で柔軟に保育園を
 利用できる制度。石浜保育園で実施。

こども誰でも 通園制度

NEW 新規事業
**子育て世帯の
 居場所づくり
 推進**
11万円

平日参加が難しい保護者に向けて
 土曜日(月1回)に総合子育て支援
 センターで交流イベントを実施。



こどもの成長をサポート

NEW 新規事業
**5歳児健診で
 特性に合った支援を**
503万円

発達障害が認知される時期の適切な支援の有無が
 成長・発達に影響を及ぼす。発達特性を早期に把握し、
 各分野が連携して個々に合わせた支援につなげる。

拡充!
**ひとり親家庭の
 児童の受験を支援**
134万円
**知多
 5市5町で
 初**



高校や大学等の受験料
 を補助。新たに中学受
 験料を追加。

徹底審査

切れ目のない子育て支援へ!

新たな施策を盛り込んだ予算

の交流拠点化等を進める。

Q 財政状況と改善点の評価は。

A 一見良好だが、物価高や人件費増、将来の施設整備により財政状況は既に厳しい。

国・県補助金の活用やシーリング導入、効果が低い事業の見直し、ネーミングライツや寄付事業等新たな財源確保を実施。

さらに災害等に備えた基金積み立て継続は効果的な対応である。

公立保育園の民営化

民営化に伴い、参入する民間事業者に対して、建設費や改修費の一部として5千万円を上限に補助する制度を新設。

Q 制度を創設した目的は。

A 保育ニーズの多様化に対応し、保護者の選択肢を増やし、安心して子育てできる環境を整備するには、民間事業者の参入が不可欠。魅力的で参入しやすい環境整備が重要であると考え新設する。

Q 建設費補助に加え、町有地を無償または低額で貸与する仕組みを検討する考えは。

A 森岡西保育園、緒川新田保育園、石浜保育園の既設園の民営化については、土地の無償貸し付けを想定している。



既存町有地への新設は、無償か有償かの議論が必要だが、貸付も非常に有効だと認識している。

希望する子育ての実現を支援

家庭内等で子育てをする3歳以上の子どもを持つ保護者の経済的負担を軽減し、安心して希望する子育てができる環境づくりを目的に支援事業を実施する。

Q 内容とニーズ調査の実施は。

A 申請年度に4〜6歳児を家庭保育する保護者に児童1人あたり月2万円支給する。

家庭保育に近い形で子育てする地域の集団活動事業利用者にピアリングし、ニーズを認識した。

5歳児健診はじまる

Q 健診の概要は。

A 4月〜5月、10月〜11月に町立保育園、東ヶ丘幼稚園で実施予定。

内容は身体発育や栄養、精神発達の状況、言語障がいの有無、育児上の問題となる事項、その他の疾病等を確認。支援が必要な場合は支援方法を検討する。

Q 健診後のフォローアップ体制は。

A 健診前から健診後にかけて、各関係者が健診やカンファレンス等に参加し、全員の健診結果を共有する。その上で支援が必要な児童は、多角的な視点から支援対応方針を検討する。

現在、3歳0カ月児健診後のフォローアップ体制は、子どもの発達特性に合う支援が実施可能な体制だが、5歳児健診が加わるため、体制の拡充をしていく。



▲すべての子ども達が保護者とともに安心して就学できる環境を

予算編成と2年間の評価は

Q 町の課題に対する対策は。

A 本町の課題は、少子化や子育て支援、高齢化に伴う生活支援や孤独防止、公共施設の老朽化等。

対策として、学校給食費補助の拡大や文化芸術体験を支援。高齢者の孤独防止として、地域福祉計画の策定等により健やかで安心して暮らせる取り組み、老人憩の家

賛否討論

※要約してあります

令和8年度 一般会計予算



定例会最終日に、令和8年度一般会計予算の内容について、5会派が賛成・反対の討論を行いました。その主な内容を紹介します。



賛成

町の課題を一つひとつ解決しながら、新たな成長へ導く予算

新政クラブ

間瀬 元明 議員

元明 議員

本予算案の内容については、現在の課題に対応しつつ、未来を見据えた施策に、細かく予算措置がなされており、この「ソリューション型予算」とも言える一般会計予算案については、高く評価したい。また、非常に多くの事業に対し細やかに予算措置がなされているだけあって、事業紹介は100ページにも達しており、投資的経費の減少分を細やかな配慮で補っているものと考ええる。

ただし、本予算審議については、予算の内容把握のほとんどを「予算案の概要」や「事業紹介」に負うところが多い。事業ごとの財源内訳、予算編成方針を、より明確にされるよう要望して賛成とする。



賛成

まちの賑わい創出や本町の魅力を発信する未来を見据えた予算

清流会

久松 純志 議員

純志 議員

本予算は、198億4862万円の前年度当初予算より、1.5%減の予算規模である。令和8年度予算編成方針、第6次総合計画、町長政策指針に掲げた政策実現のため、事業の見直しや優先順位を検討された予算と考える。

当会派要望等による、子育てしやすい環境整備、高齢者が健やかに安心して暮らせる取組、人々が集い交流しやすい場の提供、まちづくりに係る基盤整備など、課題解決に対応しつつ、新規事業・継続事業が数多く盛り込まれていると評価し、限られた財源の中で、現在と未来の住民に寄り添った予算編成であると判断します。



反対

住民負担の増加と公共性の継続に疑問

日本共産党ひがしうら

杉下久仁子 議員

物価高騰と社会保障負担増が重なる中、町全体では国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、下水道使用料等、住民負担の増加が相次ぐ内容となっている。そうした中、一般会計では保育園給食費の有料化や行政バス運賃の値上げ検討は住民の暮らしやすさを感じられる予算といえるか。さらに、図書館の指定管理継続や保育園民営化検討など公共性の後退、職員的大量退職と長時間労働の常態化も深刻である。

住民のいのちと暮らしを守る予算として十分と判断し、反対した。



賛成

第6次総合計画の着実な推進と住民に寄り添った行政運営を

公明党東浦

赤川 操恵 議員

操恵 議員

令和8年度一般会計予算は第6次東浦町総合計画に基づいた事業が計画され、日高町長の政策指針の実現に向けた積極的な姿勢が表れている。

具体的には、「5歳児健診の実施」「がん治療による人工乳房以外のエビテーゼの対象拡充」「妊婦へのRSウイルスワクチン接種事業」「学校給食費への補助事業」「こども誰でも通園制度の実施」「要配慮者の社会福祉施設への直接避難を可能とする事業」「生活応援クーポン券の配布事業」「役場庁舎内でのキャッシュレス決済の導入」等。公明党東浦が要望・推進してきたものもあり、評価する。



賛成

厳しい財政の中、健康施策は推進、於大公園再整備では効果を

親和会

大川 晃 議員

晃 議員

歳入は町税増収がある一方、ふるさと納税は令和7年度実績見込みより多い5億円。財政調整基金繰入金は7年度より2億6900万円増。財政は厳しい状況と受け止める。その中で新たな共助型ライドシェアといった取組の検討や健康施策として医療DXに伴う環境整備、5歳児健診、胃がんの早期発見、生活習慣改善支援等は評価。保育園民営化に5千万円の補助施策も評価するが、周辺自治体と比較して参入環境に差があるため、更なる支援策を求める。於大公園等の再整備は目に見える効果を重視し、ごみ減量施策の推進も要望し賛成とする。